

# 2014 神戸学院大学 Green Festival

[本学課外活動団体による公演]

第357回 10月18日(土) 14:00 開演

神戸学院大学 管弦楽団 第20回 定期演奏会

指揮/松井隆司

第358回 10月25日(土) 15:00 開演

名倉 誠人 マリンバ・ヴァイブラフォン・リサイタル

共演/河野玲子(マリンバ、ヴァイブラフォン)

第359回 11月18日(火) 15:00 開演

映画音楽とジャズ

出演/大塚ひろこ 大久保和慧 吹田善仁 桑島紳二

会場/神戸学院大学 ポートアイランドキャンパスA号館6階 大会議室

会場に  
ご注意ください

第360回 12月4日(木) 18:30 開演

多川 響子 ピアノ・リサイタル

※当日16:45からプレ・イベント(講演と対談)開催

出演/横原千史(音楽学者・評論家)、宇野文夫(作曲家・本学人文学部教授)

[本学課外活動団体による公演]

第361回 12月7日(日) 15:30 開演

神戸学院大学 混声合唱団パンドラ 第27回 定期演奏会

客演指揮/西牧 潤 北井春花 学生指揮/立花祥子

[本学課外活動団体による公演]

第362回 12月13日(土) 14:30 開演

神戸学院大学 学生放送局 第37回 放送祭『Message』

第363回 12月18日(木) 17:00 開演

大阪現代舞台芸術協会プロデュース

夏目漱石『坊っちゃん』より 演劇公演『坊っちゃん』

構成・演出=泉 寛介//くるみざわしん

出演者=一明一人、一瀬尚代、杉原公輔//増田 雄、小石久美子 他

入場無料

会場/神戸学院大学

有瀬キャンパス メモリアルホール  
(9号館6階)

ポートアイランドキャンパス 大会議室  
(A号館6階) ※11月18日のみ

主催/神戸学院大学

後援/兵庫県、(公財)神戸市民文化振興財団

参加/関西元気文化圏



- お申込方法 | 往復ハガキを使用してください。私製ハガキや2枚のハガキの貼り合わせは避けてください。申込者多数の場合は抽選になります。
  - ・ 往信裏面に①公演日 ②公演名 ③住所 ④氏名 ⑤電話番号をご記入ください。
  - ・ 返信表面にお申し込みの方の郵便番号、住所、氏名をご記入ください。
  - ・ 返信裏面は空白のままをお願いします。
  - ・ 1枚につき1公演、1名様のみのお申し込みになります。
  - ・ 受付期間は各公演の1ヶ月前～2週間前(必着)です。  
(※土曜日の場合は月曜日、日曜日・祝日・休日の場合は翌日)
  - ・ 学齢期に達していないお子さまの申込および入場はできません。
- 個人情報の取り扱いについて  
入場申込往復ハガキにご記入いただいた個人情報は、電話での申込内容の確認、入場券の発送(抽選の場合の結果通知含む)、申込状況の統計分析に限り使用します。

- お申し込み・お問い合わせ先(担当部署:社会連携グループ)  
〒650-8586(この郵便番号を使うと住所は省略できます)  
神戸学院大学グリーンフェスティバル係 電話078-974-6105
- 交通経路・所要時間  
有瀬キャンパス  
①JR「明石駅」より神姫バス「神戸学院大学行」に乗車(約20分)  
②神戸市営地下鉄「伊川谷駅」より神姫バス「神戸学院大学経由明石駅行」に乗車(約10分)  
③JR「朝霧駅」より神姫バス「神戸学院大学行」に乗車(約10分)※(注)運行本数少  
ポートアイランドキャンパス(11月18日のみ)  
JR神戸線「三ノ宮駅」、阪急・阪神「神戸三宮駅」、神戸市営地下鉄「三宮駅」から  
神戸新交通ポートライナーに乗り換え、「みなとじま駅」下車、西へ徒歩約6分  
※公共交通機関をご利用ください。学内の駐車場はご利用いただけません。

※天候により中止になる場合があります。詳細はHPをご覧ください。

神戸学院大学 <http://www.kobegakuin.ac.jp/>

## ご案内

グリーンフェスティバルは、地域の方々や本学の学生・教職員に一流の舞台芸術に接していただくべく、毎年春と秋に各5～9回の公演を無料で提供しています。西欧のクラシック音楽、多種多様な演劇、ダンスなどを中心に国内外のアーティストを招き、非常にレベルの高い、また一般の催しとは一味違う公演を企画しており、その独自性が高く評価されています。その一方で、本学課外活動団体の日頃の成果もみなさまに披露させていただいております。

## 神戸学院大学 管弦楽団 第20回 定期演奏会 指揮/松井 隆司

第357回

■曲目 \*チャイコフスキー…スラブ行進曲 \*ウォーロック…カプリオール組曲 \*チャイコフスキー…交響曲第5番

チャイコフスキー作曲のスラブ行進曲はかつての戦争で被害を受けた人々への追悼の行進曲で、2つの主題が使われているのが特徴です。ウォーロック作曲のカプリオール組曲は民族の踊りを表現した6つの小曲が集まった、弦楽器のみで編成された曲です。同じくチャイコフスキー作曲の交響曲第5番は大学のオーケストラでは定番と言えるほど数多く演奏される曲であり、「苦悩を経て歓喜へ」という主題で、彼自身の後期3大交響曲と評される曲です。

## 名倉 誠人 マリンバ・ヴァイブラフォン・リサイタル 共演/河野 玲子 (マリンバ、ヴァイブラフォン)

第358回

ヴァイブでバッハ!? 世界最大のヴァイブでバッハと2人の現代作曲家を聴く

■曲目 \*田辺恒弥…ソロ・マリンバのための組曲「仮面をつけて」 \*田辺恒弥…2台のヴァイブラフォンのための「3つのインヴェンション」(初演)  
\*J.S.バッハ…2台のマリンバのための「平均律クラヴィア曲集第二巻」(名倉誠人/編曲)より「前奏曲とフーガ イ短調 BWV889」他 \*J.S.バッハ…ソロ・ヴァイブラフォンのための「ヴァイオリンの」(名倉誠人/編曲)ための無伴奏パルティータ第2番 二短調BWV1004  
\*レーン・ハーダー…ソロ・マリンバのための「前奏曲とフーガ 変ホ短調」

打楽器とはいえ、マリンバやヴァイブラフォン(ヴィブラフォン)といった楽器は、ピアノと同じような鍵盤を持つ楽器であるため、その楽器用に作曲されたものに限らず通常の様々な音楽の演奏が可能です。これらが西洋音楽の楽器に仲間入りをするのは、1900年代に入ってからですから、ここで演奏されるバッハの作品は、作曲家バッハが思いもつかなかっただろう音で鳴り響くこととなります。一方、田辺恒弥さんの2台のヴァイブラフォンのために書かれた作品は、本日が初演となります。300年の隔たりのある音楽が、一堂に会した演奏会となります。名倉誠人さんは、神戸のご出身で、ニューヨークに拠点を置いて世界的に活躍されているマリンバ演奏の第一人者です。開演20分前より、本学人文学部教授宇野文夫によるプレ・トークがあります。

## 映画音楽とジャズ 出演/大塚 ひろこ (ヴォーカル) 大久保 和慧 (ピアノ) 吹田 善仁 (ベース) 桑島 紳二 (ドラム)

第359回

■曲目 \*デューク・ジョーダン…危険な関係のブルース \*ミシェル・ルグラン…シェルブールの雨傘  
\*ヘンリー・マンシーニ…酒とバラの日々 \*ハーマン・フップフェルド…時の過ぎ行くままに 他

モダンジャズでは、なじみのある曲のメロディーをはじめに演奏したあと、その曲と同じコード進行に則ってアドリブ演奏を行い、最後に再び曲のメロディーで締めくくることがよくあるパターンです。そこでしばしば用いられるのが映画音楽。多くの人の心の中に住み着いている映画音楽をモチーフにすることで、単に曲だけでなく、それが用いられた映画やそのころの時代の気分などもふくめ、演奏者と鑑賞者が共通項を持つことができます。だからアドリブ演奏もより一層楽しめる——それが映画音楽によるジャズ演奏の楽しさではないでしょうか。今回のステージでは、歌と演奏で映画音楽をモチーフとしたジャズを演奏します。映画を見たあの頃に思いを馳せつつ、今、目の前で繰り広げられるロマンティックでエキサイティングな即興演奏を楽しみましょう。

## 多川 響子 ピアノ・リサイタル

第360回

■曲目 ベートーヴェン… \*ピアノ・ソナタ第14番嬰ハ短調「月光」作品27-2 \*ピアノ・ソナタ第23番ヘ短調「熱情」作品57  
\*ピアノ・ソナタ第8番ハ短調「悲愴」作品13 \*ピアノ・ソナタ第21番ハ長調「ワルトシュタイン」作品53

ベートーヴェンの音楽は、いつの時代にも変わることなく愛聴されています。それはその音楽が、近代以降今日に至る人間の孤独と友愛といった心情に、強く深く訴えかけてくるためでしょう。多川響子さんは、若手ながら既にベートーヴェンのソナタの全曲演奏会シリーズを敢行された方で、作曲者の世界を誠実かつ熱烈に伝えてくれる演奏家です。この演奏会では、ベートーヴェンのソナタの中でも取り分けポピュラーな名曲をまとめてお聴きいただきます。プレ・イヴェントとして16時45分から18時まで、961視聴覚教室(メモリアルホールと同じ9号館6階)にて、「ベートーヴェン研究の現在」と題した講演と対談を行います。出演は、横原千史氏(音楽学者・音楽評論家)と宇野文夫(作曲家・本学教授)です。プレ・イヴェントの開場時間は16時30分、入場は17時15分までとさせていただきます。演奏会場へのご入場は、プレ・イヴェントへご参加の方も開場時間の18時からとなります。

## 神戸学院大学 混声合唱団パンドラ 第27回 定期演奏会

客演指揮/西牧 潤 北井 春花  
学生指揮/立花 祥子

第361回

私たちパンドラは「歌を愛し、楽しむ」をモットーに日々活動しています。合唱団としては少人数ですが、だからこそ息の合った演奏が生まれるのだと思います。今年は4年次生によるソロステージを企画しました。ミュージカル「The Sound of Music」のThe Sound of Musicなど全3曲をご用意しております。ぜひお越しください。

## 神戸学院大学 学生放送局 第37回 放送祭『Message』

第362回

今年で37回目を迎える学生放送局による放送祭。今年は『Message』をテーマに、皆さまへ私たちからのMessageを、映像や音声に乗せてお届け致します。皆さまのご来場をお待ちしております。

## 大阪現代舞台芸術協会プロデュース 夏目漱石『坊っちゃん』より 演劇公演『坊っちゃん』

第363回

原作・夏目漱石『坊っちゃん』 構成・演出=泉寛介//くるみざわしん 出演者=一明一人、一瀬尚代、杉原公輔//増田雄、小石久美子 他

「親譲りの無鉄砲で子供の時から損ばかりしている」という書き出しで有名な夏目漱石の『坊っちゃん』は、誰もが一度は読んだことのある痛快な青春小説です。その『坊っちゃん』に、関西の演劇人が現代に通じる視点から切り込み、漱石世界の新しい魅力を引きだします。はたして夏目漱石は、いま読んでオモシロイのか?新たに『坊っちゃん』を再構築するのは、泉寛介さん(baghdad café)とくるみざわしんさん(光の領地)のお二人。まったく異なるアプローチによって2本の短編『坊っちゃん』が出来上がり、その2本を連続上演することで、漱石の多面的な姿を浮かび上がらせる仕掛けになっています。演劇でやっても、漱石はやっぱりオモシロイ!

※出演者の希望で曲目が変更されることがあります。ご了承ください。